事業概要：ポストコロナ時代の若者就職支援による県内定着・移住促進　旧制度（推進）

申請者	和歌山県	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	709,060千円 （151,279千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	ポストコロナ時代を見据えたデジタル技術を活用した積極的な就職活動支援による「地方への人の流れ」を加速させることで、新規高卒就職者の県内定着、県外へ進学した大学生や第2新卒者等のUIターン就職による本県への移住の促進を図る		
事業概要・ 主な経費	**【事業概要】** 企業ガイダンス等の開催による県内企業と生徒が直接対話できる場の提供するほか、アプリを用いた情報発信などわかやま就職支援センターの設置・運営や官民が一体となったUIターン就職を推進するとともに、インターンシップやUターン就職フェアなど切れ目なく就職活動を支援する。また、就職希望者が多い県立学校に対し民間企業等勤務経験者を就職指導員として派遣する。 **【R8年度事業　経費内訳】** ・応募前企業ガイダンス(委託料等)14,100千円 ・就職指導員派遣(報酬等) 59,308千円 ・県内企業と連携したUターン就職イベントの開催(委託料)5,730千円 ・ウェブサイト・アプリ「UIわかやま就職ガイド」(委託料)14,622千円 ・わかやま就職支援センター運営(委託料等)28,883千円 ・合同企業説明会及びセミナーの開催(委託料)12,376千円		

応募前企業ガイダンス

UIわかやま就職ガイド

インターンシップ風景

わかやま就職支援センター
はたらコーデわかやま

わかやま就職支援センター

KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①高校生の県内就職率（＋13.4%） ②高卒3年以内の離職率（▲24.0%） ③大学生等のUターン就職者数（＋744人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要：大阪・関西万博を見据えた「新たな旅のスタイル」普及・促進　旧制度（推進）

<table>
<tr><td>申請者</td><td>和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和４年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td>R4-R8年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td>716,220千円
（120,367千円）</td></tr>
<tr><td>事業タイプ・類型</td><td>地方創生推進タイプ・横展開型</td><td>事業分野</td><td>観光分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="3">・「デジタル化」や「アウトドア観光」などポストコロナ時代における新しい旅のスタイルを普及・推進を図る。
・あわせて、2025年に開催される大阪・関西万博を契機とした外国人向けの情報発信及び受入環境整備を進めることで、国内はもちろん海外からの観光客の和歌山県への誘客を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要・主な経費</td><td>【事業概要】
大阪・関西万博を見据え「デジタル化」や「アウトドア観光」等による観光誘客や観光消費拡大策を推進するとともに、万博を契機とした海外向けプロモーションやインバウンド受入環境整備を実施する。

【R8年度事業　経費内訳】
・「デジタル」を活用した観光周遊施策推進
（委託料等）16,500千円
・アウトドア観光ポータルサイト運用、情報発信等
(委託料)18,570千円
・万博レガシー推進（委託料）9,977千円
・インバウンドの段階的回復に向けた情報発信および環境整備
（委託料等）75,320千円</td><td colspan="2">

「デジタル化」や「アウトドア観光」による観光誘致

「和歌山ゾーン（イメージ）」

多言語観光ウェブサイト「VISIT WAKAYAMA」

ガイドツアー</td></tr>
<tr><td>KPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td>①観光入込客数（＋2,440万人）
②本事業におけるモバイルスタンプラリー利用者延べ人数（＋24,357人）
③本事業における地域通訳案内士育成人数（＋130人）</td><td>URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html</td></tr>
</table>

事業概要：明日へつなぐ持続可能な農林漁業の実現に向けた好循環創出プロジェクト　旧制度（推進）

申請者	和歌山県	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	209,946千円 （25,824千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	水産資源の資源量等を管理しつつ魚介類及びジビエの消費拡大を促進することで、地域の「しごと」を確保・創出し地域経済を支えながら、自然変動等の影響を受けづらい経営体質への転換を促し所得の向上を図る		

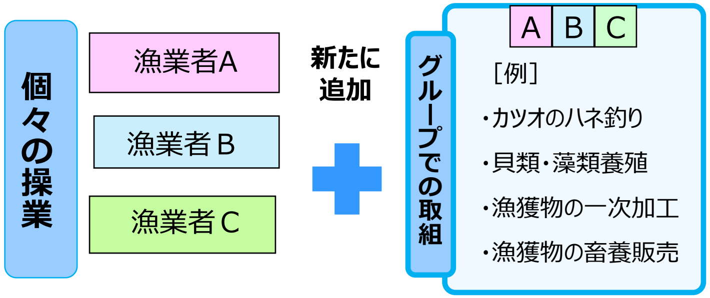
事業概要・主な経費

【事業概要】

本県主要魚種たちうお（特に小型魚）の分布等を調査し、地域の漁業者や市町と連携し適切な資源管理を実施するとともに、漁業者の収益源の複合化に向け、地域の漁業者グループによる新たな漁業種類の追加や漁獲物を加工する取組を支援する。また、魚介類やジビエの学校給食での提供や、外食産業でのイベント開催など取扱を拡大する取組を実施する。

【R8年度事業　経費内訳】

・不漁に強い漁業経営グループ創出(補助金)11,250千円
・給食への食材提供・活用促進の実施(消耗品費等)10,581千円
・外食産業等での魅力発信(委託料等)3,993千円



不漁に強い漁業経営グループ（イメージ）

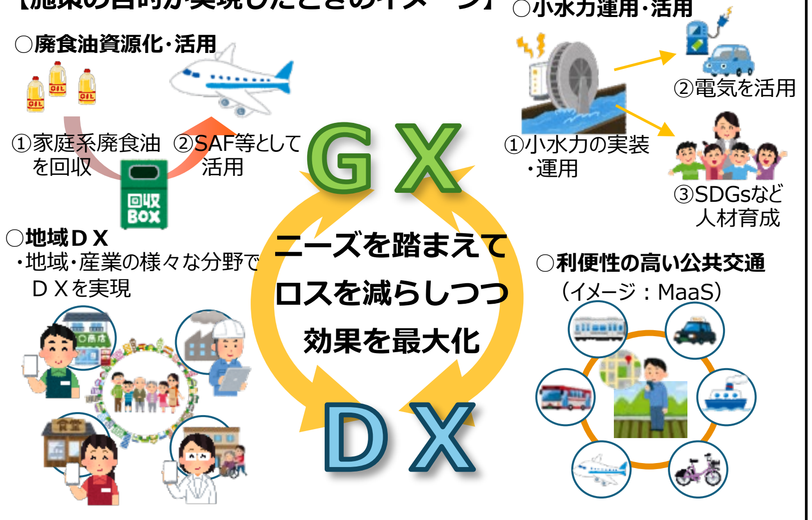
ジビエを活かしたレシピ

くじらの竜田揚げ給食

学校での出前授業風景

KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年間海面漁業生産額(養殖除く)(+9億円) ②新たに複合経営に取り組むグループ数(+10グループ) ③地産地消給食メニューの開発数（+15メニュー）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要：未来を拓く"地域ＧＸ・ＤＸ"の構築～和歌山県のサステナブルな成長実現に向けて～ 旧制度（推進）

申請者	和歌山県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	107,792千円 （12,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・サステナビリティへの意識を高めつつ、サーキュラーエコノミー型産業の振興を図る ・エネルギーを外部に依存することなく、小水力発電をはじめとする再生可能エネルギー利用促進を図る ・産業・教育・医療・子育て・交通などあらゆる分野において、利便性等を維持・向上させるため、地域におけるＤＸの加速化を図る		
事業概要・主な経費	**【事業概要】** 未利用資源活用ビジネスの第1弾として、廃食油の資源化・利活用の実証事業を継続するとともに、第2弾以降のビジネスモデル構築のため、調査・実証を実施する。 最新デジタル技術やサービスを活用した地域課題解決等に資する取組を、県内外の企業から公募し、本県をフィールドにした実証事業を実施するとともに、地域に適した交通ネットワークの構築を促進するため、NPO法人等が実施するライドシェアの実証運行等を支援することで、MaaSの実装など地域公共交通の利便性を向上させる取組を推進する。 **【R8年度事業　経費内訳】** ・課題解決型デジタル活用プロジェクト推進（委託料）10,000千円 ・持続可能な地域公共交通の構築に向けた実証運行等の支援（補助金）2,500千円	**【施策の目的が実現したときのイメージ】** 	
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋1,625人） ②製造品出荷額（年間）（＋1,176億円） ③開発・構築することができた事業モデルの数（＋19件） ④参画している事業者数（＋58社）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要：熊野白浜リゾート空港を軸とした地域活性化事業

継続

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R10年度</td><td rowspan="2">期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td rowspan="2">1,789,467千円
（145,083千円）</td></tr>
<tr><td>事業類型</td><td>ソフト
事業</td><td>✓</td><td>拠点整
備事業</td><td>✓</td><td>インフラ
整備事業</td><td></td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">熊野白浜リゾート空港の活用を軸として、東京・首都圏でのPRや国際チャーター便の誘致を行うとととともに、空港の認知度及び魅力度を向上させ、和歌山県への観光客の増加を目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費</td><td colspan="8">【事業概要】
熊野白浜リゾート空港を中心に、首都圏からの誘客や国際チャーター便の誘致を進めるとともに、旅行商品の造成や空港機能・施設整備を強化し、利用者満足度と認知度の向上を図る。また、空港連絡バスの運行など二次交通を充実させ、利便性を高めるほか、地域住民や企業に対するPRや実証事業、イベント開催等を通じて地元利用を促進する。さらに、需要増加に対応した課題や経済効果を調査し、持続的な利用拡大と地域活性化につなげる。

【R8年度事業　経費内訳】
【ソフト事業経費】
〇熊野白浜リゾート空港を活用した誘客促進
・東京・首都圏でのPR等（負担金）24,750千円
・国際チャーター便誘致　（負担金）16,000千円
〇空港周辺二次交通の改善
・空港連絡バスの運行　（負担金）　40,351千円
〇住民や企業による空港利用促進
・旅行商品利用促進等（負担金等）16,882千円
・空港フェスタの会場設営費（負担金）1,000千円
・サポーターズクラブHP運営委託（負担金）3,000千円
〇戦略的な事業実施のための調査
・空港基本計画調査（委託費）23,100千円
【拠点整備事業経費】
・歩道及び駐車場の高度化（委託費）20,000千円

空港で外国人観光客を出迎える県・町・民間事業者</td></tr>
<tr><td>主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="6">①和歌山県南部地域における観光客数(＋59,500人)
②国際チャーター便数（+96往復）
③空港連絡バス等の年間利用者数（＋24,100人）
④国内線利用者数（163,500人）</td><td>URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html</td></tr>
</table>

事業概要：世界とつながる次世代を担う和歌山県人創出事業

継続

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td rowspan="2">期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td rowspan="2">99,801千円
（21,705千円）</td></tr>
<tr><td>事業類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">在外県人会との交流を通じて若者世代の国際意識を向上させることにより、将来の地方創生の担い手として育成する。
和歌山県の魅力を世界に発信し、地域住民にも本県に愛着を感じてもらえるような機会を提供する。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費</td><td colspan="6">【事業概要】
若者世代の国際意識の向上を目的として、和歌山県と在外県人会のつながりを活かして、互いの青少年が交流できる機会として「次世代リーダーズの集い」開催する。
また、万博を契機とした世界への和歌山県の魅力発信として、「和歌山ゾーン」や世界遺産等情報発信による本県の認知度を維持・向上やビジネスミッション団の誘致による県内企業による関係構築を推進する。
【R8年度事業　経費内訳】
・環境保全トレッキング　（委託料：人件費、消耗品費　等）　1,965千円
・聖地巡礼ロングトレイル　（委託料：人件費、消耗品費　等）　9,900千円
・道標整備　（委託料：人件費、消耗品費　等）　1,980千円
・街道マップのリニューアルの検討　（印刷製本費）　7,860千円</td><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td>主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="6">①本県からの転出者数（▲900人）
②本県への転入者数　（＋750人）
③平均宿泊日数（＋0.08泊）</td><td>URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html</td></tr>
</table>

事業概要：人口減少下における農業の持続性確保プロジェクト

継続

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td rowspan="2">期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td rowspan="2">197,956千円
（69,934千円）</td></tr>
<tr><td>事業類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">人口減少によって人手不足が深刻となる中において、スマート化をはじめとする経営改善を促すことにより、農業の持続性を確保する。
積極的な県産品の販路拡大・プロモーションにより、農業の稼ぐ力を伸ばしていく。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費</td><td colspan="6">【事業概要】
農業の稼ぐ力を伸ばしていくため、県産品のPR・販路開拓や市場の活性化によって需要の拡大を目指すとともに、施設整備・機器導入等支援によって農業の生産性を向上させる。

【R8年度事業　経費内訳】
〇県産品の需要拡大
・統一ブランド農産物を主体とするPRイベント(負担金)3,500千円
・Eコマースに取り組む生産者等に対する個別伴走支援(委託料)3,850千円
・県産和牛PRイベントの開催等(委託料等)10,088千円
・県産和牛肉消費拡大対策（補助金）9,000千円
・子牛市場の活性化支援（補助金）4,000千円
・県産畜産物消費促進・品質向上支援　（補助金）　1,500千円
・県産品を取り扱う飲食店情報サイトの整備　（委託料)8,996千円
〇施設整備・機器導入等支援（補助金)29,000千円</td><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td>主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="6">①農業産出額　（＋33億円）
②生産性向上等のための施設整備実施事業者数（＋39経営体）
③プロモーションイベントでの販売額（＋3,400千円）</td><td>URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html</td></tr>
</table>

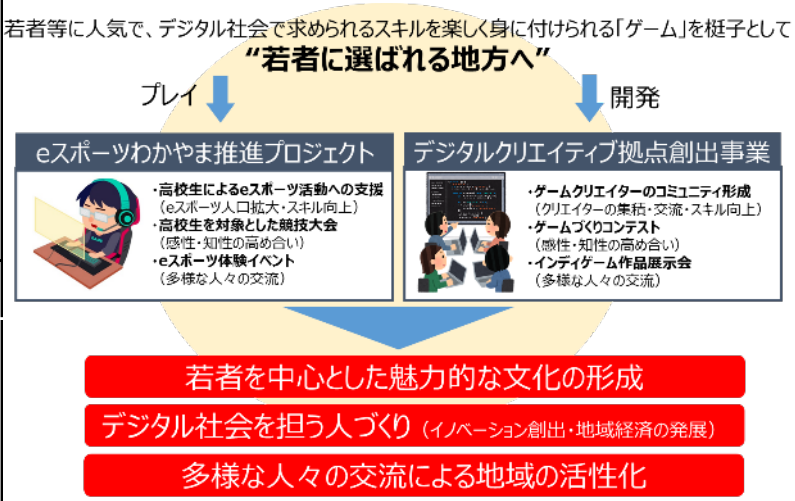
事業概要： Well-beingに出会える和歌山暮らし･地域交流促進プロジェクト

継続

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td rowspan="2">期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td rowspan="2">122,584千円
（44,132千円）</td></tr>
<tr><td>事業類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td></tr>
<tr><td>目的･効果</td><td colspan="8">地域のキーパーソンと、関係人口になりたい人や他のキーパーソンをつなぐプラットフォームを構築し、キーパーソンによる関係人口創出を後押しする。
生活スタイルに合わせた関係人口創出プログラムや外国人テレワーカーや外国人親子の受入体制の構築により、多種多様な人々が暮らす地域を創る。</td></tr>
<tr><td>事業概要･主な経費</td><td colspan="7">【事業概要】
地域のキーパーソンや地域で取り組まれているプロジェクトと、関係人口になりたい人をつなぐオンラインプラットフォームを構築し、情報の集約化と発信力の強化を図り、関係人口のマッチングを促す仕組みを作る。併せて、親子や外国人テレワーカー等多様な関係人口の受入体制を強化する。
【R8年度事業　経費内訳】
〇地域のキーパーソンの機能強化
･オンラインプラットフォーム構築（委託料）4,000千円
･キーパーソン発掘･養成･連携促進（委託料）5,000千円
･キーパーソンによる地域内外の交流機会の創出（委託料）8,000千円
〇関係人口創出プログラム、受入体制強化（委託料）9,422千円
〇関係人口創出に向けたプロモーション　（委託料等）8,310千円
〇オンライン相談体制構築･運用（使用料及び賃借料）660千円
〇外国人テレワーカー等受入体制強化（委託料）8,800千円</td><td> </td></tr>
<tr><td>主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="6">①移住世帯数　（＋3,000世帯）
②キーパーソン登録者数（＋154人）
③こども、教育、親子をターゲットにした関係人口創出プログラム参加者数（＋300人）
④オンライン相談対応件数（＋600件）</td><td>URL
※交付金の具体的使途･実施体制･効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html</td></tr>
</table>

事業概要：ゲームを梃子としたデジタルクリエイティブ文化の形成による地域活性化プロジェクト

継続

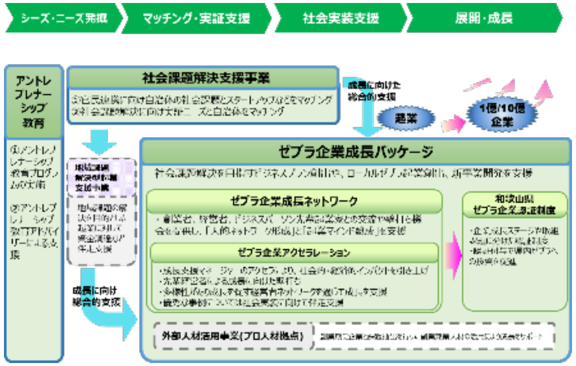
<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td rowspan="2">期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td rowspan="2">100,536千円
（28,000千円）</td></tr>
<tr><td>事業類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">若者を惹きつける魅力的な文化を形成し、若者の県内定着と県外からの流入を図る
デジタル社会を担うスキルを身にこと付けた若者等が集い、創造的な活動の基本となる感性と知性をお互いに高め 合えることができる環境を整備することで、将来的なイノベーションの創出や地域経済の発展につなげる
性別、年齢、国籍、障害の有無等を問わず、多様な人々が交流できる場を提供し、県民の寛容性を高めるとともに地域の活性化を図る</td></tr>
<tr><td>事業概要・主な経費</td><td colspan="6">【事業概要】
若年層の流出による地域の衰退やデジタル化の進展とそれに伴う働き方の変化への対応として、ゲームをプレイする「eスポーツ」及びゲームを創作する「ゲーム開発」（ストーリー、グラフィック、サウンド、システム等）に係る取組を通じて、若者を惹きつける魅力的で娯楽的な文化の形成、若者等が交流によりデジタル社会で求められるスキルを楽しく身に付けられる仕組みの構築、性別・年齢・国籍・障害の有無等に関わらず多様な人達が交流できる場の提供を進める。
【R8年度事業　経費内訳】
○eスポーツわかやま推進プロジェクト（委託料）　12,000千円
・高校生によるeスポーツ活動への支援（アドバイス・サポート）
・高校生を対象としたeスポーツ競技大会の開催
・多様な人々が交流できるeスポーツ体験イベントの開催
○デジタルクリエイティブ拠点創出事業（委託料）　16,000千円
・ゲームクリエイターが交流できるコミュニティの構築
・ゲームづくりコンテストの開催
・インディゲーム作品展示会の開催</td><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td>主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="6">①本県への転入者数　（＋900人）
②本県からの転出者数（▲900人）
③eスポーツ体験イベント参加人数（＋1,000人）
④ゲームクリエイターが交流できるコミュニティへの参加人数（＋400人）</td><td>URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html</td></tr>
</table>

事業概要：新産業創出と人材創出の両立による持続可能な経済エコシステム構築事業

継続

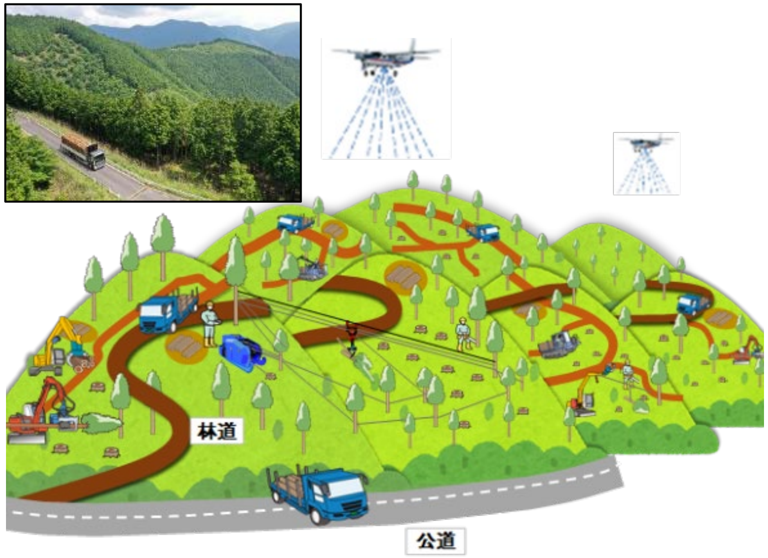
<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td rowspan="2">期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td rowspan="2">209,714千円
（71,494千円）</td></tr>
<tr><td>事業類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">ロケット射場の立地を生かし、県内企業による宇宙産業参入に向けた支援を行う。
県内の市町村等が抱える社会課題をビジネスの形で解決する社会課題解決型産業の活性化を目指す。
両事業ともに人材育成を兼ねることで、人手不足を克服した持続可能な人材供給システムを備える。</td></tr>
<tr><td>事業概要・主な経費</td><td colspan="6">【事業概要】
宇宙産業創出支援・人材育成事業として、宇宙産業集積のポテンシャル調査及びアクションプランの策定を行うとともに、企業による新規参入や人材育成、市町村による取組支援を実施しながら、宇宙産業関連情報の発信によって県内での宇宙産業創出に係るプレイヤーを増やしていく。
社会課題解決型企業（ゼブラ企業）創出・人材育成事業として、事業者と市町村のマッチングや事業者ネットワークの形成、担い手となる人材を増やすためのアントレプレナーシップ教育を推進する。

【R8年度事業　経費内訳】
〇宇宙産業創出支援・人材育成事業
・宇宙産業の創出　（委託料）　30,000千円
・宇宙産業人材の創出　（委託料）　2,000千円
・産業集積に向けた県内市町村の取組支援（委託料）3,700千円
・宇宙産業関連情報の発信　（委託料）　3,000千円
〇社会課題解決型企業（ゼブラ企業）創出・人材育成事業
・社会課題解決マッチング支援（委託料）　7,000千円
・ゼブラ企業成長ネットワーク形成　（委託料）13,000千円
・アントレプレナーシップ育成プログラム　（委託料等）6,410千円</td><td colspan="2">


</td></tr>
<tr><td>主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="6">①地域における新規雇用者数　（＋38人）
②プラットフォーム・ネットワークへの参加者数（280者）
③宇宙産業参入を目指して取組を始めた企業数（＋23社）
④県内自治体が抱える社会課題とのマッチング（＋12件）</td><td>URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html</td></tr>
</table>

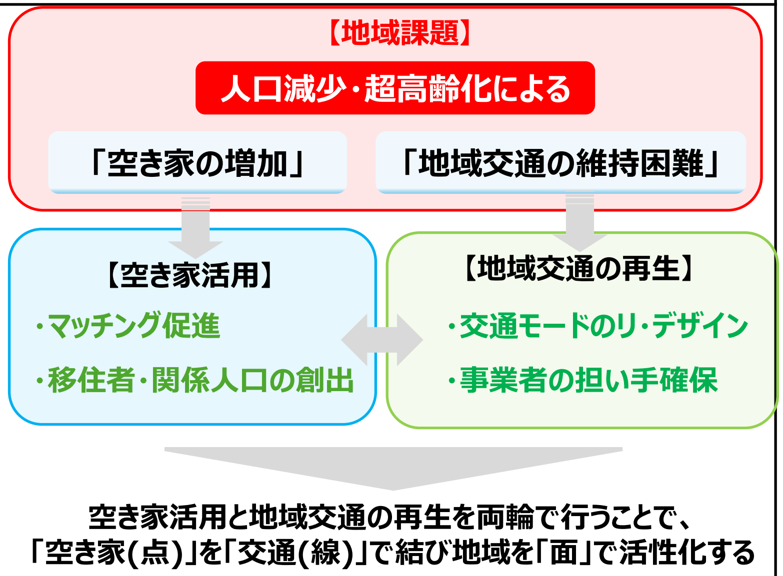
事業概要：森林資源を活かした地域活力の再生と山村地域の防災面の強化

継続

申請者	和歌山県	初回採択回	令和７年度第２回募集
事業計画期間	R7-R11年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	3,399,056千円 （864,721千円）
事業類型	ソフト事業 ✓ / 拠点整備事業 / インフラ整備事業 ✓		
目的・効果	安定した木材供給のため、森林資源情報の把握や林道整備を進め、木材加工業の活性化を促す。 適正な森林管理により、持続可能な森林経営を実現し、山地災害防止やカーボンニュートラルに貢献する。 森林資源情報共有による関係者の相互連携を図るとともに、新規林業就業者を確保する。 防災機能の強化として、避難道路の確保を進め、安心して地方創生に取り組める環境を整える。		
事業概要・主な経費	**【事業概要】** 航空レーザー測量により詳細な森林資源情報を活用・共有し、適正な森林管理、効率的な間伐・伐採等による安定した木材供給により、木材の生産性向上及び収益性の向上を図る。併せて、都市部でのプロモーションや体験会、定住や就業支援等による取り組みにより、新規就業者の確保を図る **【R8年度事業　経費内訳】** 〇ソフト事業 ・航空レーザー計測データを用いた森林資源情報の解析　150,000千円 ・新規林業就業者の確保　61,034千円 〇インフラ整備事業 ・安定した木材供給、適正な森林管理、防災、CO_2吸収等に資する林道整備　544,300千円 ・人家・集落等の安全及び輸送・避難道路等の安全確保に資する治山施設の整備　109,387千円		
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①林業産出額の増加額　（+670百万円） ②木材生産量の増加量　（+62,500㎥） ③新規林業就業者の確保　（＋275人） ④航空レーザー計測データを活用した森林資源の解析面積（+483㎢） ⑤緊急輸送道路・集落へのアクセス道路の安全確保（+2箇所）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要：地域の新たな「つながり」創出プロジェクト

新規

申請者	和歌山県	初回採択回	令和８年１月募集
事業計画期間	R8-R10年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	138,225千円 （46,075千円）
事業類型	ソフト事業：✓　拠点整備事業：　インフラ整備事業：		
目的・効果	・地域課題となっている空き家等を地域資源として活用することで、空き家等増加に伴うリスクを抑制するとともに、移住者・関係人口の創出を実現する。これにより、地域の賑わいや経済の活性化につなげる。 ・地域交通の持続可能性を確保するため、各圏域での地域交通の現状把握・課題分析を踏まえたリ・デザイン及び交通事業者の担い手確保に向けた環境整備を推進する。地域交通は、住民の暮らしを守るとともに、観光客・ビジネス客など地域外からの来訪者にとっても地域で活動する貴重な手段であることから、その維持・活性化を通じて間接的に地域の経済活性化につなげる。		
事業概要・主な経費	【事業概要】 人口減少・超高齢化を背景として、空き家等の増加と地域交通の持続性が地域課題として顕在化しつつある。本事業では、県外から人を呼び込むための資源として空き家等を活用することで、地域課題の解決と並行して地域活性化を実現するため、空き家等活用の利便性を高めるためのオンラインプラットフォーム構築と空き家等を利用した関係人口創出プログラムを実施する。併せて、地域での生活の利便性の堅持が重要であることから、圏域ごとに地域交通のリ・デザインを試みるとともに、担い手確保にも取り組み、地域交通の持続可能性を確保する。 【R8年度事業　経費内訳】 ・空き家マッチング促進オンラインプラットフォームの構築　委託料　10,000千円 ・つながりを創出するプログラム実施及び情報発信　委託料等　15,075千円 ・圏域ごとの最適な交通モードのリ・デザイン　委託料　20,000千円 ・交通事業者の労働環境整備　補助金　1,000千円		
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住世帯数（＋3,798世帯） ②空き家マッチング数（＋900件） ③地域交通のリ・デザインに向け、広域調整や伴走支援を行う圏域の数（＋4圏域） ④県内乗合バス事業者における採用者の増加数（＋3人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要：若者や女性に選ばれる県内企業創出事業

新規

申請者	和歌山県					初回採択回	令和８年１月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	228,393千円 （76,131千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・より多くの若者や女性が県内企業に就職・定着してもらうため、県内企業の成長力、働きやすさ、ブランド力を向上させ、若者や女性に選ばれる企業を増加させる。 ・県内企業の魅力向上を通じて、人材確保・定着、販路開拓及び生産性向上を図り、付加価値向上による地域経済の維持及び拡大につなげる。						

事業概要・主な経費

【事業概要】

本県の人口減少の主要因として若者世代や女性が他県へ流出してしまっていることがあげられる。こうした流出を抑制するため、より多くの若者や女性が県内企業に就職・定着してもらうため、県内企業の経営力強化に係る支援や職場改革の推進、ブランド力向上によって企業としての魅力度向上を図る。併せて、就職の前提となる県内企業の認知度を向上させるため、県内企業がオープンファクトリーや教育への参画など新たな取組を始める後押しや支援を実施する。

【R8年度事業　経費内訳】

・県内企業の経営力強化・成長加速　委託費　19,731千円
・地域働き方・職場改革推進　委託費等　4,470千円
・「和歌山一番星アワード」認定商品等販売促進　委託費　36,174千円
・オープンファクトリー支援　補助金　11,256千円
・理系人材育成支援　委託費　4,500千円

主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①就業者1人当たり付加価値額（＋56.76万円） ②地域における新規雇用者数（＋159人） ③本事業を通じて新たな取組を開始した企業数（＋139社）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要：養殖業成長産業化推進事業

新規

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和８年１月募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R8-R10年度</td><td rowspan="2">期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td rowspan="2">60,000千円
（20,000千円）</td></tr>
<tr><td>事業類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">・陸上養殖事業の普及及び事業者誘致を促進することで、水産物の安定供給や生産規模拡大を図るとともに、地域の新たな特産品、観光資源及び雇用の創出を通じて、水産業の成長につなげる。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費</td><td colspan="6">【事業概要】
天然資源の減少や水産物需要の拡大を背景に、安定供給を担う産業として重要性が高まっていることから、全国的に陸上養殖に対する注目が高まっている。県内における陸上養殖事業の普及を進めるため、立地にあたって必要となる、事業に活用できる用地や水、適した魚種などの情報を調査して『和歌山県陸上養殖立地推進戦略』を策定し、県内外の事業者に対して情報提供を行い、県内での事業を呼びかけるとともに、補助制度によって事業開始に向けた後押しを行う。
【R8年度事業　経費内訳】
・陸上養殖の適地調査（委託料）20,000千円</td><td colspan="2">・陸上養殖の増加による<u>養殖業の規模拡大</u>
・環境変化への対応による<u>生産性、収益性の向上</u>
・新たな地域資源の創出による<u>地域の活性化</u>
<u>養殖業の成長産業化、持続可能な養殖業</u>

（出典：水産庁　令和５年度水産白書）</td></tr>
<tr><td>主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="6">①陸上養殖の生産額（＋58百万円）
②陸上養殖の収穫量（＋30トン）
③本事業を活用して新たに立地した陸上養殖の数（＋1件）</td><td>URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html</td></tr>
</table>

事業概要：サイクリング王国わかやま実現によるサステイナブルなサイクルツーリズム創出プロジェクト

新規

申請者	和歌山県	初回採択回	令和８年１月募集
事業計画期間	R8-R12年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	6,059,100千円 （1,211,000千円）
事業類型	ソフト事業 ✓ / 拠点整備事業 ✓ / インフラ整備事業 ✓		
目的・効果	・和歌山県の強みであるナショナルサイクルルートをはじめとする広域的なサイクリングルートと世界遺産「高野山」を有機的につなぎ、サイクリング王国わかやまの実現を目指す。 ・紀州材によるサイクリングロードや休憩施設の整備により、走行環境及び受入環境の向上を図るとともに、サイクルツーリズムを推進することで、国内外からの誘客促進や観光消費の拡大、インバウンドの地方誘客を通じた地域経済の維持及び拡大につなげる。		

事業概要・主な経費

【事業概要】

・和歌山県は、全国６選のナショナルサイクルルートの１つである太平洋岸自転車等をはじめとする広域的なサイクリングルートを有している。
・世界遺産高野山に向かう国道370号は、関西広域サイクルルートに設定されているが、道路整備が不十分であり、狭隘かつ視距不良で自転車の走行性が悪い。
・道路改良により、サイクリストが安全・安心に走行できる環境づくりを進めるとともに、カーボンニュートラルな紀州材による「みちづくり」を進め、サイクリングロード自体の魅力を高めるとともに、低炭素な移動手段である自転車観光への転換とあわせて、高野山へのサイクルツーリズムのブランドイメージ向上を図る。

【R8年度事業　経費内訳】

○ソフト事業
・広域的なサイクリングルートを活かした高野山へのサイクルツーリズムのプロモーション活動（委託料）11,000千円
○インフラ整備事業
・道路整備事業　1,200,000千円
　国道370号道路改良　狭隘かつ視距不良区間の解消

和歌山県サイクリングロードマップ

主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内の旅行消費額（＋200億円） ②高野山の観光客数（＋8.4万人） ③県内の就業者１人当たり付加価値額（＋1.19百万円/人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要：若者世代を中心としたまちづくりによる次世代人材育成プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	235,025千円 （51,435千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	若者世代が和歌山市で学び、和歌山市で働くことが叶い、夢や希望を持ちながら潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を形成するとともに、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業機会の創出を一体的に推進することで、急激な人口減少に歯止めをかけ、持続可能で未来に希望の持てる和歌山市の実現を目指す。		
事業概要・主な経費	**【事業概要】** 若者と地域をつなぐまちづくりに参画できる仕組みをつくるとともに、まちづくり活動への支援やイベント等を実施しまちの賑わい創出につなげる。また、空き家・空き店舗の活用に向け、お試し出店できる仕組みの提供や事業者支援を実施する。 **【R8年度事業　経費内訳】** ①若者と地域をつなぐまちづくり体制の構築と活動の推進 ・魅力的なまちづくりに向け、自立化に向けた活用を支援するための経費（委託料）：3,000千円 ②空き家・空き店舗など地域資源を活用した担い手不足の解消 ・空き店舗等を活用したイベントの実施に係る経費（委託料）：3,115千円 ・２年目に策定した地域ビジョンに基づき実施する空き家・空き店舗等の活用に向けた実証実験等に係る経費（委託料）：20,000千円	 	
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①和歌山市の人口（国勢調査基準人口）（▲8,700人） ②20代の転入超過数（＋105人） ③事業で活用した空き物件での新規開業店舗数（＋6店舗） ④新規市民公益活動登録数（＋2,100人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html

事業概要：大阪･関西万博を契機としたわかやまし観光拡大プロジェクト　旧制度（推進）

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	382,420千円 （109,823千円）
事業タイプ･類型	地方創生推進タイプ･横展開型	事業分野	観光分野
目的･効果	関西国際空港からのアクセスの良さ等の地理的利点を生かし、外国人が旅ナカだけでなく旅マエから本市の見どころを認識できるような情報発信や、外国人観光客のスムーズな受け入れのための体制づくり等を通して、大阪･関西万博を契機とした外国人観光客の増加に努めるとともに、外国人観光客の周遊を促進し、滞在時間･消費額の増加を図る。		
事業概要･主な経費	**【事業概要】** デジタル技術を活用した情報発信やパンフレットの多言語化等により観光情報の発信力強化を進めるとともに、本市ならではの観光コンテンツやナイトタイムコンテンツを造成･提供することにより本市への滞在時間の延長を図る。 **【R8年度事業　経費内訳】** ①インバウンド獲得に向けたプロモーション ･デジタル技術等を活用した魅力発信（事業補助金、負担金、委託料）：23,982千円 ･パンフレット制作（印刷製本費）：10,600千円 ②核となるコンテンツの磨き上げと回遊性向上に向けたしくみづくり ･和歌山市ならではの体験事業（委託料）：52,805千円 ･観光案内サービス展開や情報収集･分析、市内周遊を促す空間づくり（負担金、委託料、補助金）：22,436千円	 	
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（＋12億6,936万9千円） ②外国人宿泊客数（＋5,229人） ③多言語対応ウェブサイト閲覧数（＋36,000pv） ④和歌山城天守閣入場者数（＋47,103人）	URL ※交付金の具体的使途･実施体制･効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html

事業概要：和歌山市の未来をつなぐ持続可能な農業振興プロジェクト

継続

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県和歌山市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td rowspan="2">期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td rowspan="2">83,622千円
（25,814千円）</td></tr>
<tr><td>事業類型</td><td>ソフト
事業</td><td>✓</td><td>拠点整
備事業</td><td></td><td>インフラ
整備事業</td><td></td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">農業の魅力発信や新規就農につながるような仕組みづくりを進めるとともに、農産物の6次産業化等を推進することにより担い手の維持・確保を図り、持続可能な農業の実現を目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費</td><td colspan="6">【事業概要】
本市の農業等にについて情報発信を行うことにより本市農業への関心を高めるとともに、農作業の省力化に資するスマート機器の導入・活用に対し支援を行う。また、市農産品の高付加価値化・ブランド化を進めるため、６次産業化の推進や有機農産物の生産への補助を行う。販路拡大に向け、本市農産物を体験・購入することのできるにぎわいの場の創出やプロモーションを行う。
【R8年度事業　経費内訳】
①担い手の育成とスマート農業の育成促進
・SNS等の運用に係る経費（使用料及び賃借料）：924千円
・農作業の省力化や自動化に資する設備の導入等に対する補助金：6,400千円
②市農産品のブランド化・高付加価値化
・地元農産物やその事業過程で排出される廃棄物等をもとに、新商品開発や起業、事業拡大や新たな販売方法に取り組む事業者等に対する補助金：4,000千円
・有機農産物の生産に取り組む農業者に対する補助金：200千円</td><td colspan="2"> </td></tr>
<tr><td>主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="6">①農業産出額（市町村別農業産出額）（＋5億1千万円）
②新規就農者数（＋60人）
③本事業を通じ農業の省力化・スマート化に係る設備を導入した件数（＋12件）
④本事業を通じた６次産業化の取組件数（＋12件）</td><td>URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>https://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html</td></tr>
</table>

事業概要：文化ツーリズムによる国内観光客推進プロジェクト

継続

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	510,365千円 （240,850千円）
事業類型	ソフト事業 ✓ ／ 拠点整備事業 ／ インフラ整備事業		
目的・効果	誘客に向けた文化資源・文化施設の活用の気運が高まる中、魅力ある文化の創造及び発展並びに地域の個性を生かした文化振興に市民及び民間等と協働しながら取り組み、魅力的な本市の文化資源・文化施設を未来へ引き継ぐことで更なる醸成を図るとともに、観光誘客による経済効果を生み出すことを目指す。		

事業概要・主な経費

【事業概要】

和歌山城をはじめとする本市の文化資源等を生かし、遠方からの集客や夜間の滞在を促すイベントを実施するとともに、誘客に向けた調査分析や商品造成、全国的なプロモーションを展開する。また、若者が文化活動に参加するきっかけとなるイベントの開催やSNS等を活用したプロモーションを行う。

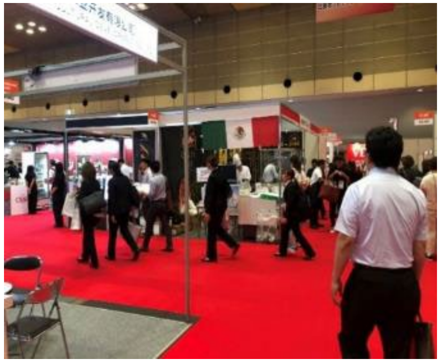
【R8年度事業　経費内訳】

①文化的魅力を生かした、来訪者による経済活動を促す事業の実施
・夜間の集客力強化に係る経費（委託料）：21,250千円
・和歌山城のおもてなし力強化に係る経費（交付金、手数料）：12,449千円
②観光誘客に向けた若者の文化活動への参画の推進
・地域に賑わいを生み出すイベントの実施に係る経費（負担金）：30,010千円
・若者の文化活動参加を促す仕組みづくりに係る経費（委託料）：2,000千円

主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額　（＋66億88百万円） ②年間宿泊客数（＋13万1千人泊） ③和歌山城天守閣入場者数（＋35,859人） ④日頃から芸術・文化活動を行い、又は鑑賞する機会を持っている市民の割合（＋0%）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html

事業概要：地域に根ざす産業の高付加価値化推進事業

新規

申請者	和歌山県和歌山市					初回採択回	令和８年１月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	159,810千円 （54,252千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・人口減少社会にあっても地域経済の活力を維持し、持続可能で世界に誇れる都市の実現を目指す。 ・デジタル技術やAI等の活用により、市内中小企業の業務効率化・省人化を促進し、人手不足下においても生産性の向上と経営基盤の強化を図る。 ・地場産業の技術や魅力を国内外へ発信するとともに、外部市場との接続を強化することで、付加価値向上及び新たな販路の開拓を促進する。 ・海外市場の拡大を成長機会として捉え、国際展開を見据えた産業振興を推進する。						
事業概要・主な経費	**【事業概要】** 本事業は、デジタルツールの導入支援等を通じて、市内事業者の生産性向上及び経営基盤の強化を図るとともに、地域課題解決型のアクセラレーションプログラムや女性起業家を対象とした支援を実施し、新規事業の創出と多様な人材の活躍を促進する。あわせて、市内中小企業者による製品改良や展示会出展、新たな販売チャネルの導入を支援し、地場産業の付加価値向上と販路拡大を図るほか、輸出に関する啓発や商社とのマッチング、交流都市における物産PR等を通じて、継続的な海外販路開拓の基盤構築につなげる。 **【R8年度事業　経費内訳】** ・デジタルツールの導入等を支援（補助金）3,000千円 ・地域課題解決に取り組む起業家やビジネスの創出支援（委託料）7,000千円 ・自社製品の販路開拓支援（補助金）7,800千円 ・海外販路開拓に関する支援（委託料等）8,308千円 ・交流都市との関係性を活かした海外展開支援（通信運搬費等）18,261千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①粗付加価値額（＋210億円） ②商談中または商談成立した事業者数（＋11件） ③地場産業の認知度向上に寄与する展示会等の来場者数（＋4,100人） ④市内事業者と国内輸出商社とのマッチング支援企業数（＋5社） ⑤地域課題解決に寄与する起業・新規事業数（＋5件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html

事業概要：「住みたい」「働きたい」と思えるまち和歌山市実現プロジェクト

新規

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和８年１月募集
事業計画期間	R8-R10年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	181,096千円 （56,326千円）
事業類型	ソフト事業 ✓ ／ 拠点整備事業 ／ インフラ整備事業		
目的・効果	「住みたい」「働きたい」と思える環境の形成を図り、若者及び市外からの移住者の定着を促進することで、継続的な社会増への転換につなげる。これにより、将来にわたって人口と地域経済を維持した持続可能で活力ある和歌山市を実現し、地域の活力を取り戻す。		

	ソフト事業		拠点整備事業		インフラ整備事業	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	

事業概要・主な経費

【事業概要】

市内就職の促進を図るため、就職先としてニーズの高い情報通信産業の本市への誘致や企業の生産性向上にむけた取組を支援する。また、移住者の増加を図るため、首都圏を中心に本市の魅力を発信する。「住みたい」「働きたい」まちの実現に向け、住民の地域への愛着の醸成を図るため、地域課題について学び取り組む機会を提供するとともに、地域交通の実証運行により生活環境の向上につなげる。

【R8年度事業　経費内訳】

○市内就職の促進
・企業の誘致活動に係る経費（委託料）：530千円
・企業の生産性向上の促進に係る経費（補助金）：21,500千円
○転入増加に向けた本市の認知度の向上
・認知度向上に向けたプロモーションに係る経費（委託料）：14,661千円
○地域社会の活性化
・地域課題解決に向けた市民の意識醸成に係る経費（委託料）：787千円
・地域運行の実証運行に係る経費（委託料）：3,428千円

主なKPI

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

①人口の社会増減数（+276人）
②本事業を通じた新規就業者数（+72人）
③本事業を通じて全従業員の平均給与増加を表明した企業数（＋33件）
④シティプロモーション関連事業新規活用者数（+462人）
⑤本市を住みよいまちと感じている人の割合（+6.0%）

URL

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

https://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html

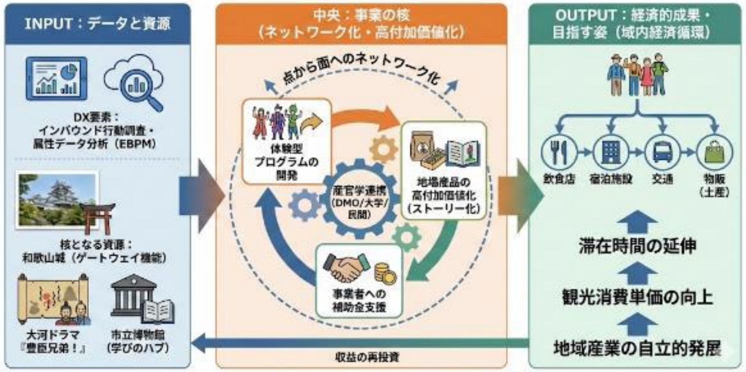
事業概要：ポスト万博期における観光高度化事業

新規

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県和歌山市</td><td>初回採択回</td><td>令和８年１月募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R8-R10年度</td><td rowspan="2">期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td rowspan="2">263,537千円
（92,303千円）</td></tr>
<tr><td>事業類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">観光を「地場産品・サービスの最大の販路」と再定義し、データに基づく戦略立案を支える体制の整備や認知度向上、周遊コンテンツ造成と消費促進、観光客が安心して快適に滞在できる環境づくりを推進することで、地場産業のネットワーク化と高付加価値化を図り、観光消費額の拡大及び観光経済の面的拡大を通じて、地域経済の持続的な維持・拡大につなげる。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費</td><td colspan="8">

【事業概要】

データ分析に基づき戦略的な発信を強化し、観光を地場産品の最大の販路として誘客を促進する。インバウンド調査等のエビデンスに基づき、大河ドラマ活用や健康ツーリズム等の高付加価値な滞在型商品を造成。併せて民間事業者の商品開発を補助金で支援し、ブランド価値を向上させる。ICT活用や人材育成によりインバウンド等の受入環境を整備し、観光を核に飲食・宿泊等の消費を域内へ循環させることで、地場産業の持続的な維持・拡大を強力に推進する。



【R8年度事業　経費内訳】

・情報発信力の活用による認知度向上と観光消費額の拡大に係る経費（補助金）：16,886千円
歴史的な文化資源を活用した周遊の促進に係る経費（委託料・印刷製本費等）：31,808千円
・インバウンド向けの観光基盤整備に係る経費（補助金、委託料）：11,288千円
・歴史的な文化資源を活用し周遊の促進に係る経費（委託料）：495千円
・インバウンド向けの観光基盤整備に係る経費（委託料）：999千円

</td></tr>
<tr><td>主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="6">①観光消費額（＋31.51億円）
②観光入込客数（＋752,094人）
③宿泊客数（＋3,269人）
④和歌山城への来場者数（＋26,250人）</td><td>URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>https://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html</td></tr>
</table>

事業概要：海南駅前広場活性化事業

新規

申請者	和歌山県海南市	初回採択回	令和８年１月募集
事業計画期間	R8-R９年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	68,077千円 （4,886千円）
事業分野	ソフト事業 ✓ 拠点整備事業 ✓ インフラ整備事業		
目的・効果	海南駅前広場を交流拠点として整備し、イベント開催等を通じて地場産品の販路拡大と付加価値向上を図り、交流人口・関係人口の創出による地域経済の維持・拡大につなげるものである。あわせて、防犯カメラやLED照明の整備により安全・安心な公共空間を確保し、市民と来訪者の利用促進を図る、地場産業支援と暮らしの安全確保に資する取組である。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	**【事業概要】** 海南駅前広場において、イベント用インフラ（電源設備・散水栓）などの整備、移住定住PR冊子の作成、観光周遊マップ・案内サインの整備を一体的に実施する。これらの整備により、駅前広場を「市民と来訪者の交流拠点」として再生し、マルシェやキッチンカーイベント等の開催を可能とする。地場産業のPRを支援するとともに、交流人口・関係人口の創出を通じて地域経済の活性化と移住定住の促進を図る。 **【R8年度事業　経費内訳】** 〇ソフト事業 ・移住PR冊子の作成（消耗品費）288千円（印刷製本費）264千円 〇拠点整備事業 ・外灯LED化工事にかかる実施設計業務　704千円 ・駅前広場整備工事にかかる実施設計業務　2,893千円 ・駅前公衆便所改修工事にかかる実施設計　737千円		
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内観光消費額（年間）（＋277,186千円） ②市内観光客数（年間）（＋28,000人） ③移住相談会相談件数（＋3件） ④関係人口・交流人口を含めた地域人口の増加数（年度）（+14,517人） ⑤駅前イベント参加差数（+14,500人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和８年７月公表予定

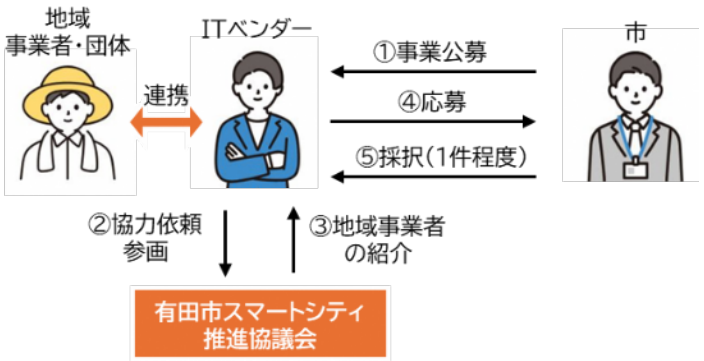
事業概要：市民に好かれ市外の人に選ばれる便利な田舎「橋本市」推進事業

継続

申請者	和歌山県橋本市					初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	820,247千円 （432,941千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	市内外へ本市の魅力について情報発信を強化促進し、住民には好かれ、外部の人には選ばれる田舎暮らしを可能とするため、移住定住施策や地場産業の磨き上げとその発信などをソフト、拠点整備事業を織り交ぜて地域活性化を図り、人口減少の加速を緩やかにしていくことで持続可能な地域づくりを目指す。						
事業概要・主な経費	**【事業概要】** 地場産業のブランド化や販路拡大による経済活性化、SNS等を活用した魅力発信の強化、そして全天候型交流拠点の整備を一体的に推進する。これらを通じて産業・暮らし・遊びの魅力を高め、市内外の人々がつながる好循環を生み出すことで、定住促進と地域の発展を目指す。 **【R8年度事業　経費内訳】** ○ソフト事業経費 ・産業魅力発信事業　153,200千円 新たな地場産品の創出と販路開拓などを事業者が主体で推進していける環境を整えていくことで、地域経済の活性化と市民が市外の方に誇れるものを知り、広めていくサイクルを作り出す費用。 ・田舎暮らし魅力発信事業　39,600千円 SNS、HPの活用を見直し、外部委託を行って新たな情報発信やコンテンツを作成することで、施策や資源など市の魅力を多くの方に知ってもらい、転入数増や転出抑制につなげる。 ○拠点整備事業経費 ・紀望の里ウッドパーク整備事業 施設整備　240,141千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の社会動態推移（＋80人） ②移住相談件数（+315件） ③新商品開発件数（＋21件） ④紀望の里ウッドパークにおけるイベント開催日数（＋24日） ⑤紀望の里ウッドパークにおける市主催イベント時の農産物販売額（＋30万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hashimoto.lg.jp/guide/sogoseisakubu/seisaku_kikaku/hashimotosousei/hashimotosousei/1547528827083.html

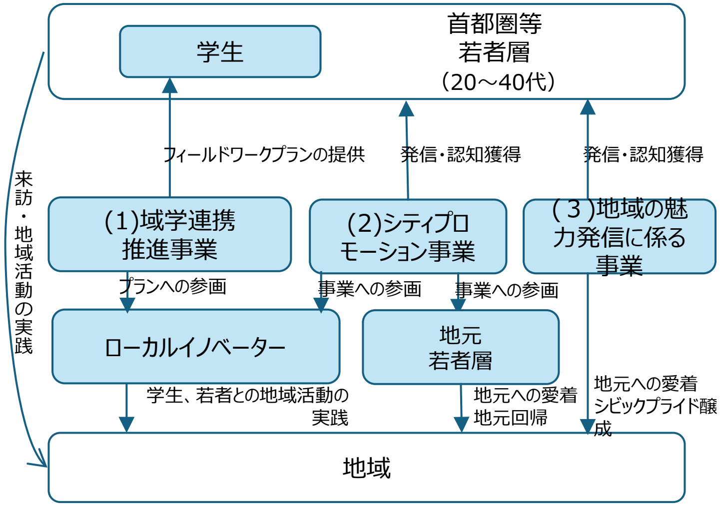
事業概要：ありだデジタル共創プロジェクト推進事業

新規

申請者	和歌山県有田市	初回採択回	令和８年１月募集
事業計画期間	R8-R10年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	15,000千円 （5,000千円）
事業類型	ソフト事業：✓／拠点整備事業：／インフラ整備事業：		
目的・効果	市が示す地域課題に対し、地元事業者や団体が域外のＩＴ事業者等と連携し、先進的なデジタル技術や知見を活用し取り組むことで、地域資源を活かした付加価値の創出を促進する。これにより、域外事業者との協働を通じた関係人口を創出し、地域との多様な関わりを生み出すとともに、地域内で生まれたデジタルサービスが域内で利用・循環する経済モデルの形成を目指す。地域が主体となって価値を生み出し、内外の連携により成長し続ける地方の実現を将来像とする。		
事業概要・主な経費	**【事業概要】** 人口減少・少子高齢化が進む中にあっても地域が持続的に成長する推進力を構築するため、下記の条件を満たす実証事業を実施する。 ⑴市が設定したDX及び官民連携により優先的に解決したい課題・テーマ（例：小中学生の課外活動に関する指導者不足、住民ニーズに基づいた地域交通、有田みかんのブランド力向上　等）の解決につながる取組 ⑵デジタル技術やサービスを活用した具体的かつ横展開可能な取組や地域の魅力向上につながる取組 ⑶デジタル技術やノウハウを有する市内外の企業が地域事業者又は団体等と連携し、本市をフィールドにする取組 ⑷実証事業以降は、公費のみに頼らない収支モデルの形成が見込める取組 **【R8年度事業　経費内訳】** ・ありだデジタル共創プロジェクト推進事業（委託料）5,000千円	市が設定した地域課題をもとに、民間事業者から下記の条件に適合するソリューションを公募。採択事業は、年度内に実証を実施。  	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①製造業における粗付加価値額（+33,722万円） ②継続的に有田市の事業者・団体等と連携する（関係人口となる）域外事業者数（＋3社） ③市内をフィールドとした、デジタル活用に関する実証・実装モデルの件数（＋3件）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.arida.lg.jp/sangyoshigoto/nyusatsukeiyaku/1005638.html

事業概要：地域の魅力発信から未来へつなげる若者交流創出プロジェクト

継続

申請者	和歌山県田辺市						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	51,471千円 （7,400千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	市民と大学生が交流できる機会を創出し、関係人口の創出・拡大につなげるとともに、地域活動の実践者の増加を図る。 ヒト・コトにフォーカスしたプロモーションにより関係人口の拡大・創出・深化を図りつつ、市内の高校生などの若年層も関わることで相互の地域理解を深め、市内若年層の地元回帰向上も図る。							
事業概要・主な経費	**【事業概要】** （１）域学連携推進事業 　ステークホルダーと連携し、地域特性を生かしたフィールドワークプランを作成・PRすることで、大学側の本市に対する関心を高め、関係人口の創出・拡大につなげる。 （２）シティプロモーション事業 　首都圏・近畿圏在住者や本市にゆかりのある若者層等を対象とした関係人口創出講座を実施するとともに、より広く本市の魅力の情報発信を行う。 **【R8年度事業　経費内訳】** （１）域学連携推進事業 　プラン作成、PR活動、フィールドワーク参加者へのサポートに係る経費（委託料）3,000千円 （２）シティプロモーション事業 　講座の実施に係る経費（委託料）4,400千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本市の転出超過数（▲146人） ②本事業で開発したフィールドワークプランを通じ、地域、事業者と関わった人数　（+120人） ③本市が行う関係人口の施策を通じての地域活動の実践者（+270人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tanabe.lg.jp/machizukuri/gyoseiunei/7/kikakukeikaku/20/4118.html

事業概要：（仮称）首都圏シティプロモーション事業

新規

申請者	和歌山県田辺市	初回採択回	令和８年１月募集
事業計画期間	R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	5,000千円 （5,000千円）
事業類型	ソフト事業 ✓ ／ 拠点整備事業 ／ インフラ整備事業		
目的・効果	田辺市が有する様々な地域資源を最大限に活用した、首都圏における効果的なシティプロモーションを実施することにより「田辺市のファンづくり」に取り組み、本市産品の購買意欲の向上につなげるとともに、地域の担い手確保の観点から、将来の「二地域居住」や「ふるさと住民登録」の選択肢としても、全国から選ばれる街「田辺市」の実現を目指す。また、「田辺市のファン」が増えることで市民のシビックプライドを醸成し、地域の活性化や地域経済の拡大につなげる。		

事業概要・主な経費

【事業概要】

高いPR効果が期待できる首都圏にターゲットを絞り、その中でも特に訴求力の高いエリアとして、経済的・時間的に余裕のある層が比較的多く在住する「世界で最もクールな街2024」（世界的シティガイドメディア「Time Out」主催）に選出された「学芸大学駅周辺エリア（東京都目黒区）」において、シティプロモーションを実施する。「梅」「梅酒」「観光」などの地域資源を活用した総合的なプロモーションを通じて"田辺市のファンづくり"に取り組み、将来の「二地域居住」や令和9年度から本格的にスタートする「ふるさと住民登録」の推進につなげる。

【R8年度事業　経費内訳】

・首都圏シティプロモーションイベントの開催に係る経費
　委託料（企画・運営、PR等一式）：4,400千円
　消耗品費：400千円
　運搬費：200千円

（梅酒PR）

（特産品販売）

（梅シロップづくり体験）

（移住相談）

主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本市が行う関係人口の施策を通じた地域活動実践者数（関係人口）（＋8人） ②移住定住に関する相談件数（+26件） ③移住ポータルサイト閲覧数（+660回）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和８年６月公表予定

事業概要：吊橋を活用した誘客促進及び全国木橋サミット誘致事業

新規

申請者	和歌山県田辺市					初回採択回	令和８年１月募集
事業計画期間	R8-R９年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	2,000千円 （1,000千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本市には全国最多となる63橋もの吊橋があり、特に龍神地域にはそのうちの34橋が集中している。吊橋と自然が一体となった景観は、他地域にはない独自性の高い地域資源となっており、近年では、「佐久間橋」など一部の吊橋がSNSやメディアで取り上げられ、吊橋そのものを目的とした来訪者が増加するなど、新たな観光需要の兆しが見られる。これら龍神地域に点在する吊橋の安全性確保と周遊ルートの磨き上げを一体的に行い、温泉・自然体験と連携させることで、観光客数及び滞在日数の増加、消費の拡大を目指すとともに、令和9年度の全国木橋サミット誘致を契機に全国に向けた情報発信を行い、地域経済の活性化を目指す。						

事業概要・主な経費

【事業概要】

龍神地域の吊橋群について安全性の確保と周遊ルート整備を一体的に進め、温泉や自然体験等と連携することで、観光客数や滞在時間の増加、消費拡大を図るものである。周遊ルートの明確化、パンフレット・WEBサイトの制作、SNSによる情報発信、全国木橋サミットの誘致等により、回遊性の向上と来訪意欲の喚起を促進し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を目指す。また、これらの取組は事業終了後も持続的な誘客基盤として機能し、吊橋の活用と維持管理の両立を図りながら、中長期的な観光振興につなげるものである。

【R8年度事業　経費内訳】

○吊橋活用誘客促進事業費負担金

・（仮称）田辺市龍神村吊橋観光開発協議会に対する負担金 1,000千円
　周遊情報整備（吊橋群の周遊ルート整理、安全性・利用条件の明確化）、広報・プロモーション（周遊マップ・WEBサイトの制作及び情報発信）　等

主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①龍神地域における観光消費額（年間）（＋975,000千円） ②龍神地域への観光入込客数（＋25,000人） ③HPへのアクセス数（＋100,000件）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和８年６月公表予定

事業概要：ドローンを活用した「空の地域インフラ」構築プロジェクト

新規

申請者	和歌山県紀の川市					初回採択回	令和８年１月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	157,948千円 （24,648千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少・少子高齢化の進行により、生産年齢人口や担い手が減少し、特に中山間地域を中心に、物流や農業といった地域を支える基盤機能の維持が困難になりつつある中、ドローンを「空の地域インフラ」として社会実装し、平時は物流と農業を支える日常インフラとして活用しながら、非常時には防災・物資輸送・状況把握に即時転用できる仕組み（フェーズフリー）を構築することで、人口減少時代においても、暮らしと産業が持続する自立型の地域運営モデルを確立し、地域経済の自立性や持続性の向上を目指す。						

事業概要・主な経費

【事業概要】

物流・農業・防災の三分野に共通する「運ぶ・移動する・上空から把握する」という機能に着目し、ドローン航路、拠点（デポ）、運航体制を共通基盤として整備し、分野横断的に活用可能な「空の地域インフラ」を構築

産官学で構成する「紀の川市ドローン社会実装推進コンソーシアム」と連携し、実証から民間サービス化までを一体的に実施し、持続的な運営モデルを確立

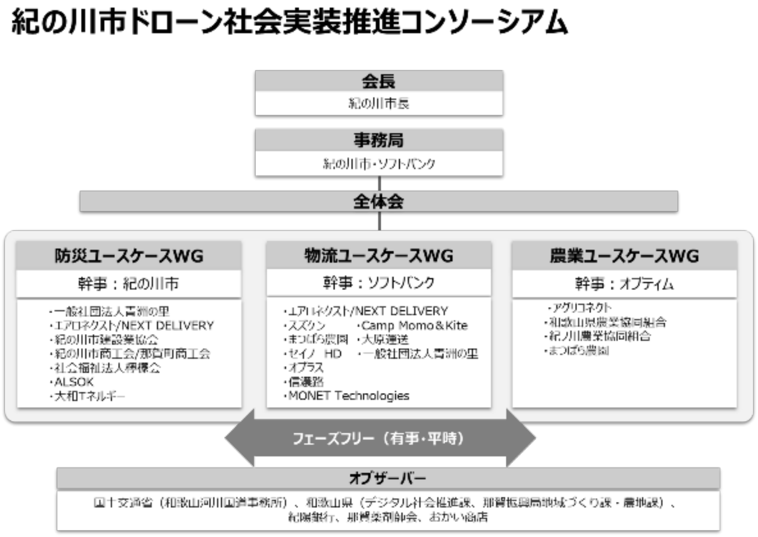
＜物流分野＞ 中山間地域において、複数の物流事業者やサービス事業者の荷物を拠点（デポ）に集約し、ドローンと陸送を組み合わせた「ハイブリッド配送モデル」を構築することで、 物流事業者単独では維持が困難な地域物流網を、地域全体で支える体制へ転換する。

＜農業分野＞ 農薬散布等の作業負担が大きい工程について、ドローンを活用した共同利用型モデルを構築し、個々の農業者に依存しない形で省力化と生産性向上を図ることで、果樹産地としての競争力強化につなげる。

＜防災分野＞平時の物流・農業で活用するドローン航路や運用体制を災害時にも活用し、物資輸送や被災状況把握を迅速に行うことで、孤立集落の防止や初動対応力の向上を図る。

【R8年度事業　経費内訳】

・＜物流＞物流基礎調査・参画可能性調査事業：10,632千円
・＜農業＞農薬散布普及拡大事業：1,785千円



主なKPI

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

①過疎地域における人口減少率（＋0.5%）
②物流・配送サービス用途で運用開始した定期物流航路数（＋2航路）
③ドローンによる農薬散布面積（＋90ha）
④災害対応用に事前に設定・検証を完了した航路数（＋6航路）
⑤ドローンを活用し新たに事業化・サービス化された取組の件数（＋2件）
⑥連携事業者数・団体数（＋9社・団体）

URL

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

https://www.city.kinokawa.lg.jp/004/sougousennryaku.html

事業概要：岩出駅前活性化事業

新規

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県岩出市</td><td>初回採択回</td><td>令和８年１月募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R8-R10年度</td><td rowspan="2">期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td rowspan="2">27,623千円
（17,371千円）</td></tr>
<tr><td>事業類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">・岩出駅前を「まちの玄関口」として再定義し、駅前の観光案内所と周辺歩道の空間を核に、公共交通・体験コンテンツ・デジタル施策（AR等）を組み合わせることで、観光を「点」から「線」、さらに「面」へと展開し、来訪者が“訪れる理由”“回る理由”“また来る理由”を継続的に得られる仕組みを構築する。
・案内所の開所イベントを一過性の催しで終わらせず、これを起点にイベントで行った体験プログラムを観光案内所で通年実施することにより、回遊動線不足、公共交通の観光利用不足、ファン化・再訪の弱さを同時に解決し、交流人口の拡大と地域経済の活性化に寄与する。</td></tr>
<tr><td>事業概要・主な経費</td><td colspan="6">【事業概要】
本事業は、観光案内所そのものへの来訪を目的化するのではなく、「岩出市を訪れ、回遊し、滞在・体験し、消費する」一連の行動を誘発する仕組みを実装・検証し、将来に自走可能な形で継続化することを狙いとする。
具体的には、観光案内所および岩出駅から案内所間のインターロッキング歩道空間を核として、通年体験プログラムの実施等を行い、体験価値向上と情報発信強化を一体で推進する。
【R8年度事業　経費内訳】
・観光案内所の開所を契機とした体験プログラム創出事業（委託費）　9,583千円
・通年体験プログラム造成・運営事業（委託費）　7,788千円</td><td colspan="2"> </td></tr>
<tr><td>主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="6">①観光消費額（＋3,135万円）
②公共交通を利用した観光周遊者数（＋160人）
③観光案内所を起点とした通年体験プログラム参加者数（＋5,240人）
④観光案内所の入館者数（＋9,000人）
⑤岩出市への観光のリピーター率（＋50%）
⑥市内観光入込客数（＋900,000人）</td><td>URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>「岩出市まち・ひと・しごと創生総合戦略」
https://www.city.iwade.lg.jp/koushitsu/sogosenryaku.html</td></tr>
</table>

事業概要：かつらぎ熱中小学校推進事業

旧制度（推進）

申請者	和歌山県かつらぎ町	初回採択回	令和４年度第２回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	21,873千円 （3,318千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	業者間連携を促進し、地域資源を活用した高い競争力を持つ商品を創出する 高い競争力を持つ商品の販路開拓、プロモーションにより地域に魅力的な仕事を創出する 郷土教育により郷土愛の醸成を図るとともに、商品にストーリーや付加価値を付与する 多様な人材が交流し、地域を愛する全ての住民が地域づくりに貢献できる環境を構築する		
事業概要・ 主な経費	**【事業概要】** 首都圏等の企業経営者や大学研究者、地域の有識者を講師として招き、地域の様々な業種の事業者や住民が共に学ぶ場「かつらぎ熱中小学校」の運営に要する費用に対して、補助金を交付する。 **【R8年度事業　経費内訳】** かつらぎ熱中小学校の運営費用から収入を除いた金額を補助金として交付する。（事業実施主体：かつらぎ熱中小学校（任意団体）、補助率10/10） ・かつらぎ熱中小学校推進事業補助金：3,318千円	 授業風景 グループワーク	
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域産品開発件数（＋49件） ②開発した地域産品の売上額（＋21,070千円） ③地域における起業件数（＋7件） ④熱中小学校会員数（サテライト会員除く）（＋55人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.katsuragi.wakayama.jp/050/050/010/2024-0312-1800-16.html （効果検証） https://www.town.katsuragi.wakayama.jp/050/050/010/20170401021233.html

事業概要：かつらぎ町活性化･プロモーション事業

継続

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県かつらぎ町</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第２回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td rowspan="2">期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td rowspan="2">19,049千円
（3,170千円）</td></tr>
<tr><td>事業類型</td><td>ソフト
事業</td><td>✓</td><td>拠点整
備事業</td><td></td><td>インフラ
整備事業</td><td></td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">・かつらぎ町の一体的なPRパンフレット等を作成し、イベント参加者や観光客、移住希望者、ふるさと住民、ふるさと納税寄附者などへの配布や移住促進ポータルサイトで情報発信することで、町のファン増加や移住希望者の増加を図り、地域の活性化を目指す。
・花園地域において、地域の現状や課題の把握と新たな魅力や可能性の掘り起こしを目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費</td><td colspan="6">【事業概要】
観光資源や特産品、活躍している住民や移住者の紹介など、様々な分野を一体的にPRできるパンフレットを新規作成する。また、移住者の体験談を取材し、移住促進ポータルサイトで新たに情報発信する。花園地域においては、ヒアリング調査やモニターツアーを実施し、花園地域活性化事業計画（仮）作成やワーケーション実施につなげる。

【R8年度事業　経費内訳】
・PRパンフレット印刷製本費　1,925千円
・PRイベント出店業務委託料　975千円
・PRイベント時の会場借上料　260千円
・PRイベント時の郵送料　10千円</td><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td>主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="6">①移住者数（＋3人）
②観光入込客数（＋169,500人）
③ふるさとかつらぎ寄附金額（＋8,610万円）
④ふるさと住民数（＋420人）
⑤新たな魅力等の発掘数（＋3個）
⑥ワーケーション利用者数（＋20人）</td><td>URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>https://www.town.katsuragi.wakayama.jp/050/050/010/2026-0305-1023-16.html</td></tr>
</table>

事業概要：かつらぎ町ブランド戦略推進事業

新規

申請者	和歌山県かつらぎ町					初回採択回	令和８年１月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	22,330千円 （6,600千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ブランド戦略推進アドバイザー及び観光大使を活用して、対外的PRの強化と潜在的資源の全国発信を目指す。 ・町の様々な資源の知名度向上を図り、「かつらぎ町」の観光目的地化（ブランド化）による旅行消費額や観光入込客数、宿泊客数の増加を目指す。 ・観光を主軸にかつらぎ町のブランド化を推進し、旅行消費額や観光客数の増加を通じて地域経済の維持・拡大と地場産業の付加価値向上を目指す。						

事業概要・主な経費	**【事業概要】** 町の魅力を積極的に県外へPRするため、専門アドバイザーを設置する。アドバイスに基づき、PRターゲット層や雑誌・イベント・メディア等での情報発信方法等を検証し、町PR戦略の導入と実行による対外的な町の認知度向上施策の強化（ブランド戦略推進）を図る。また、観光大使を活用した町PRPVの制作検討～内容協議～制作及びメディア展開を行うことで、町の魅力発信の強化と町のファンの増加や認知度・観光客・交流人口・関係人口・移住希望者、旅行消費額の拡大を図る。 **【R8年度事業　経費内訳】** ・ブランド化PR戦略実施業務委託料　6,600千円	（右図参照）

主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①旅行（観光・レクリエーション）消費額（＋６億円） ②観光入込客数（＋169,500人） ③宿泊客数（＋750人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.katsuragi.wakayama.jp/050/050/010/2026-0305-1023-16.html

事業概要：上富田スポーツセンターを軸としたスポーツツーリズム･スポーツDXソリューションによる地域活性化

継続

申請者	和歌山県上富田町	初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	284,258千円 （252,278千円）
事業類型	ソフト事業 ✓ ／ 拠点整備事業 ✓ ／ インフラ整備事業		
目的・効果	日本有数のスポーツ合宿施設「上富田スポーツセンター」に最新スポーツDXソリューションを導入し、地域イベントの発信や県内外の施設利用者の利便性向上を進めることにより、スポーツツーリズムへの推進に取組む。 AIカメラの映像とともに、電光掲示板の表示内容をスタッツデータ化、合宿・大会参加チームへフィードバックできるという仕組みを構築、多目的イベントで地域住民のウェルネス向上のために、幅広い層の利用を促進する。		
事業概要・主な経費	**【事業概要】** 人が集まるかみとんだ事業（上富田町への新しいひとの流れをつくる） 元気でいきいきかみとんだ事業（時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する） 　AIカメラを導入し大会発信や、施設利用者の付加価値値増 　モニター型電光掲示板を新設し、表示内容からスタッツデータ化 　さらに、野球場モニター前でイベント開催 　地元住民から観光・合宿利用者が交流するをシンボリックな施設へ **【R8年度事業　経費内訳】** ○ソフト事業経費 ・スポーツ大会・イベント・合宿誘致施策費（委託料）7,000千円 ・事業構想・推進費・システム開発等（委託料） 8,000千円 ・AIカメラシステム構築及び設備一式導入費用(委託料) 3,278千円 ○拠点整備事業経費 ・モニター型電光掲示板等新設 234,000千円		
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①上富田町への観光客数（＋5.9万人） ②上富田スポーツセンターのべ利用者数（＋5.7万人） ③運動習慣のある割合（+8.0%） ④南紀ウエルネスツーリズム協議会斡旋による宿泊者数（＋2.2千人） ⑤体験ツアー参加者数(＋174人) ⑥満足度アンケート調査(＋0.7ポイント)	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和８年１２月公表予定